書籍のタイトル

(すべて大文字のメイン タイトル)

覚えやすく、読者の注意を引くタイトルにします。タイトルで書籍の内容を明記し、言いやすい表現にする必要があります。読み上げたときに発音しにくい、または当惑させるような複雑なタイトルにしないようにします。

既に特定のタイトルに決めている場合は、そのタイトルでかまいません。まだ決まっていない場合、自分の書籍の目標を確認する必要があります。たとえば、自分のブランドを構築したい場合は、タイトルで自分のブランドについて言及します。エキスパートとしての地位を確立したい場合は、信頼できそうなタイトルにします。単に注意を引いて書籍を販売したい場合は、刺激的で面白い、または議論の的になるようなタイトルにします。

タイトルの品質によって、コンテンツの品質が判断されます。そのため、読者の生活にどのような付加価値を与えたいか?読者が何を学びたいと思っているか?対象読者の目標は何か?またこの書籍によってその目標がどれだけ達成されるか?などの特定の質問を自分自身に問いかける必要があります。基本的に、対象読者のことを思い浮かべてください。

タイトルの候補一覧を生成する場合は、Google および Amazon 検索で人気のある関連キーワードを検索してみてください。ジャンル/対象読者を考慮し、問題の解決を約束または提供するようなタイトルを作成します。たとえば、「厳しい世界で驚くほどたくましい子供を育てる」や「100 万ドルの商談をまとめる 6 つの秘訣」などにします。既によく知られているタイトルにすることは避けてください。自分の本が目立たなくなります。最初の例 (「厳しい世界で驚くほどたくましい子供を育てる」) を使用して書籍のアイデアを生成する方法を示します。

書籍のサブタイトル

(サブタイトル内の各単語の先頭文字を大文字にする)

読者が書籍の内容を正確に把握できるように、トピックについての深い洞察が得られるような適切なサブタイトルにする必要があります。たとえば、「厳しい世界で驚くほどたくましい子供を育てる」のようなメイン タイトルは、「あなたの子供のマインドセットを強くし、人生に備えさせる方法」のようなサブタイトルにすると有益な場合があります。

**著者**

(著者名を入力)

© Copyright (発行年を挿入) (著者名または発行者名を挿入) - All rights reserved.

電子的手段または印刷形式のいずれにおいても、この文書のいかなる部分も再現、複製、または転送することは法律によってできません。この出版物の記録は固く禁止されています。

この書籍の目的:

ここにコンテンツを挿入します…

このセクションは省略可能であり、多くの場合、私的な性質を持ちます。人生においてあなたを支えてくれた親しい個人またはグループに対する謝辞を述べます。家族、親しい友達、インスピレーションを受けた人物などにすることができます。

目次

[概要 1](#_Toc2788942)

[パート I:パートのタイトルを挿入 (スタイル:見出し 1) 2](#_Toc2788943)

[第 1 章:章タイトルをここに挿入 (スタイル:見出し 2) 3](#_Toc2788944)

[第 2 章:章タイトルをここに挿入 5](#_Toc2788945)

[パート II:パートのタイトルを挿入 6](#_Toc2788946)

[第 3 章:章タイトルを挿入 7](#_Toc2788947)

[第 4 章:章タイトルを挿入 8](#_Toc2788948)

[第 5 章:章タイトルを挿入 9](#_Toc2788949)

[エピローグ/結論 10](#_Toc2788950)

[文献目録 11](#_Toc2788951)

[謝辞 13](#_Toc2788952)

[著者について 14](#_Toc2788953)

# 概要

ここにコンテンツを挿入します…

適切な序論を書くには、次の手順に従います。

1. 書籍を購入してくださった読者に対する謝辞を述べます (これは省略可能で電子書籍版のみ)。
2. 自分の書籍のトピックを紹介します。
3. 書籍が解決する問題を明確にします。対象読者は既にわかっているため、読者が抱えている問題について述べます。
4. 書籍が提案する解決策の概略を記述します (たとえば、「この書籍では、強靭なメンタルを持つ子供を育てる方法を教え、...」など)。
5. 主題についての専門家としての経歴を強調します。可能であれば、個人的/専門家としての実話を使用して、あなたが専門知識を獲得した方法を示します (たとえば、数十年間、児童心理学を勉強して習得したのか?12 人の子供がいる大家族の一員として育ち、自分自身も 10 人の子供を育てることになったことから習得したのか?など)。
6. 書籍のメリットを強調します。(たとえば、“この情報は、あなたの子供が自信に満ちた人間に育ち、... できるようになる手助けをします” など)
7. 書籍のメリットの裏付けを記入します。この情報が自分または他の人にどのように役立ったかを述べます。
8. 書籍の購入後に、あまり長く放置しないように読者に警告します。読者に問題を長引かせないように丁寧な口調で伝えます (たとえば、読者に小さい子供がいる場合は、この情報を使用して早めに開始した方が良い結果になります)。
9. この書籍を読んでもらえるように読者に行動するよう呼びかけます。

# パート I:パートのタイトルを挿入 (スタイル:見出し 1)

(パートのタイトル内の各単語の先頭文字を大文字にする)

ここから新しいパートを開始します…

多くの詳細な情報を含む長編の書籍の場合、複数のパートに書籍を構成します。複数のパートに書籍を分割することは、歴史的または概念的なトピックを記述するのに適しています。書籍は必要に応じて任意の数のパートに分割でき、各パートで異なるテーマを取り上げます。ただし、すべてのパートで、全体的な書籍のタイトルについて言及する必要があります。

ステップ バイ ステップの方法で情報を表示する場合、論理的な順序でパートを配置します。

書籍のパート I は一般的に導入部で、原則としてトピックの基本情報について説明します。書籍のタイトル セクションで使用した例と同様に、パート I の適切なタイトルの候補として “育児生活” または “いかにして親になるか” などが考えられます。

トピックと書籍の各パートの内容が決定したら、関連する章タイトルの一覧を作成します。時間をかけて書籍全体の計画を練ります。取り上げるトピック、削除するトピックを特定し、結論が導かれるようにコンテンツを配置する方法について調査します。

1 つのパート内に任意の数の章を設定することができます。一部のパートで他のパートより多くの章を設定することも可能です。コンテンツの異なる章ごとに同じ長さを維持するのは難しいため、章の長さはかなり異なります。

## 第 1 章:章タイトルをここに挿入 (スタイル:見出し 2)

(章タイトル内の各単語の先頭文字を大文字にする)

ここから新しい章を開始します…

第 1 章では、読者にトピックを紹介します。たとえば、例の書籍の第 1 章のタイトルを「自分の子供の理解」にします。最初に、章の内容についての概要を示し、補強するポイントにスムーズに移行します。読者と調和した関係を築き、その関係を維持するために、シンプルでわかりやすい言葉で記述してください。

読者と調和した関係を築く 1 つの方法は、有名な人物の言葉の引用から章を開始することです。引用は、章内で説明したキー ポイントを示すために後で使用することができるように、章のトピックに関連していることを確認します。最初の章を引用で書き始めた場合、一貫性を保ち、後続のすべての章も引用で始めます。

または、“役に立つ情報 …” で章を書き始めることもできます。ほとんどの人が気付いていない可能性があるいくつかの統計情報でフォロー アップします。導入部に限らず、このテクニックは書籍の別のセクションにも適用できます。読者に質問をする (場合によっては修辞的) ことは、読者と調和した関係を築き、楽しませる良い方法です。

冒頭部のもう 1 つの方法は、読者に特定の状況を心に描くように求めることです。たとえば、“... になるように訓練を受けたすべての子供がいる世界を想像してみてください” のようなものです。ここでの目的は、最初から読者を引き付け、注意を引くことです。

各章を書き始める上で重要なのは、全体を通じて一貫してこれを行うことです。

### 小見出し 1 の挿入 (スタイル:見出し 3)

(小見出し内の各単語の先頭文字を大文字にする)

ここにコンテンツを挿入します…

関連する小見出しを持つセクションに章を分割します。小見出しは読者にとって章全体のガイドとなり、トピックの内容の把握に役立ちます。常に章ごとに 1 つ以上の小見出しを設定し、それらが常に章のトピックに関連しているどうかを確認します。

特定の章の内容を調査するとき、あなたが重要だと思った部分を小見出しにすることができます。たとえば、小見出し 1 は「あなたはどれだけ子供のことを理解していますか?」にできます。実際の話を引用して、自分の子供について知ることの重要性を説明できます。

### 小見出し 2 の挿入

ここにコンテンツを挿入します…

小見出し 2 の例は、「あなたの子供の長所と短所」です。この章では、子供の性格を調べるために使用する方法と手順について説明します。

### 章のまとめ/重要な考慮事項

ここにコンテンツを挿入します…

この章のキー ポイントを短い段落内で読者に伝えます。または、次のように行頭文字の書式設定を使用します。

* 自分の子供が人生で成功するのを手助けしたい場合は、子供の長所と短所を把握します。
* 自分のテキストのポイント 2…
* 自分のテキストのポイント 3…
* など

次の章では、次のことについて説明します…

スムーズに論理的に章を移行するには、次の章の概要を読者に知らせます。章を終了するときに、既に学習した内容と次の章の情報をリンクします。

## 第 2 章:章タイトルをここに挿入

ここから新しい章を開始します…

第 2 章では、書籍のトピックをもう少し詳しく説明します。たとえば、例の書籍の第 2 章のタイトルは「今日の育児」にします。最初に、章の内容についての概要を示し、補強するポイントにスムーズに移行します。読者と調和した関係を築き、その関係を維持するために、シンプルでわかりやすい言葉で記述してください。

### 小見出し 1 の挿入

ここにコンテンツを挿入します…

関連する小見出しを持つセクションに章を分割します。小見出しは読者にとって章全体のガイドとなり、トピックの内容の把握に役立ちます。常に章ごとに 1 つ以上の小見出しを設定し、それらが章のトピックに関連しているどうかを確認します。

特定の章の内容を調査するとき、あなたが重要だと思った部分を小見出しにすることができます。たとえば、この章の小見出し 1 は「本当に厳しい世界」などです。たとえば、今日の世界で子供を育てることがこれほど困難な理由など、社会がどのように変化したかについて話すことができます。

### 小見出し 2 の挿入

ここにコンテンツを挿入します…

小見出し 2 には、「なぜ今日の子供は協力できないのか」のようなサブタイトルを使用します。このサブセクションでは、伝統的および現在の子育てスタイルの違い、子育てにおいてテクノロジが果たす役割、価値観の衰退について説明します。

### 章のまとめ/重要な考慮事項

ここにコンテンツを挿入します…

この章のキー ポイントを短い段落内で読者に伝えます。または、次のように行頭文字の書式設定を使用します。

* 今日、TV とその他のデジタル デバイスは家庭で親の役割を果たしています。
* 自分のテキストのポイント 2…
* 自分のテキストのポイント 3…
* など

次の章では、次のことについて説明します…

スムーズに論理的に章を移行するには、次の章の概要を読者に知らせます。章を終了するときに、既に学習した内容と次の章の情報をリンクします。

# パート II:パートのタイトルを挿入

連続するパートを使用して、書籍のトピックのより詳細な、または複雑な領域について取り上げます。パート I でトピック/問題を定義したため、このセクションを使用して解決策を提供することを検討します。この場合、適切な例のタイトルは、「適切な子育て方法を知る」または「あなたの子供のマインドセットを強くする」などです。この書籍のこのパート内の章が、自分が選んだパート タイトルと合致していることを確認してください。

## 第 3 章:章タイトルを挿入

ここから新しい章を開始します…

この例の目的のため、この章のタイトルは「強靭なマインドセットを作る」などになります。つまり、この章ではメンタルを強くするための方法について取り上げることを意味します。最初に、章に含まれる情報についての概要を示し、補強するポイントにスムーズに移行します。読者と調和した関係を築き、その関係を維持するために、シンプルでわかりやすい言葉で記述してください。

### 小見出し 1 の挿入

ここにコンテンツを挿入します…

関連する小見出しを持つセクションに章を分割します。小見出しは読者にとって章全体のガイドとなり、トピックの内容の把握に役立ちます。常に章ごとに 1 つ以上の小見出しを設定し、それらが常に章のトピックに関連しているどうかを確認します。

特定の章の内容を調査するとき、あなたが重要だと思った部分を小見出しにすることができます。たとえば、この章の小見出し 1 を「自制心」にします。子供の精神力、認識力などを育てるための実践的なトレーニング方法を読者に提供してください。

### 小見出し 2 の挿入

ここにコンテンツを挿入します…

小見出し 2 として、「自信」などのサブタイトルを使用してください。この例の章では、どのようにして勇敢で自制心のある子供にトレーニングするかについての実践的な手順とヒントを提供します。

### 章のまとめ/重要な考慮事項

ここにコンテンツを挿入します…

この章のキー ポイントを短い段落内で読者に伝えます。または、次のように行頭文字の書式設定を使用します。

* 精神的な回復力を伸ばすことは、人生で成功を収める上で重要な部分です。
* 自分のテキストのポイント 2…
* 自分のテキストのポイント 3…
* など

次の章では、次のことについて説明します…

スムーズに論理的に章を移行するには、次の章の概要を読者に知らせます。章を終了するときに、既に学習した内容と次の章の情報をリンクします。

## 第 4 章:章タイトルを挿入

ここから新しい章を開始します…

この例の目的のため、この章のタイトルは「社会的価値を確立する」などになります。子供のウェルビーイングの社会/コミュニティの側面を取り上げます。最初に、章に含まれる情報についての概要を示し、補強するポイントにスムーズに移行します。読者と調和した関係を築き、その関係を維持するために、シンプルでわかりやすい言葉で記述してください。

### 小見出し 1 の挿入

ここにコンテンツを挿入します…

関連する小見出しを持つセクションに章を分割します。小見出しは読者にとって章全体のガイドとなり、トピックの内容の把握に役立ちます。常に章ごとに 1 つ以上の小見出しを設定し、それらが章のトピックに関連しているどうかを確認します。

特定の章の内容を調査するとき、あなたが重要だと思った部分を小見出しにすることができます。たとえば、この章の小見出し 1 を「他の人との付き合い方」にします。読者の子供に、他の人と共存する方法、なぜそうすることが重要なのか、などを教える実践的な方法を提供します。

### 小見出し 2 の挿入

ここにコンテンツを挿入します…

小見出し 2 として、「EQ を伸ばす」などのサブタイトルを使用してください。子供が社会からシグナルを読み取ったり、ネガティブな感情があれば、それについて話す方法などを手助けする実践的な手順を提供します。

### 章のまとめ/重要な考慮事項

ここにコンテンツを挿入します…

この章のキー ポイントを短い段落内で読者に伝えます。または、次のように行頭文字の書式設定を使用します。

* 子供に社会的価値と倫理を教えることは、社会にうまく溶け込む上で役立ちます。
* 自分のテキストのポイント 2…
* 自分のテキストのポイント 3…
* など

次の章では、次のことについて説明します…

スムーズに論理的に章を移行するには、次の章の概要を読者に知らせます。章を 1 つの段落で終了するときに、既に学習した内容と次の章の情報をリンクします。

## 第 5 章:章タイトルを挿入

ここから新しい章を開始します…

これが書籍の最後の章であるという前提で、「今日の子供、将来の親」のような前向きなタイトルを作成します。ここでは、この書籍の方法および新しい科学的洞察がどのように未来を形作るかを概観します。また、もし子供にマインドセットを強くする方法を教えなかった場合、子供にとって世界はどのように見えるかについても説明します。

### 小見出し 1 の挿入

ここにコンテンツを挿入します…

関連する小見出しを持つセクションに章を分割します。小見出しは読者にとって章全体のガイドとなり、トピックの内容の把握に役立ちます。常に章ごとに 1 つ以上の小見出しを設定し、それらが章のトピックに関連しているどうかを確認します。

特定の章の内容を調査するとき、あなたが重要だと思った部分を小見出しにすることができます。たとえば、この章の小見出し 1 が「変更に適応する」だった場合、適応力や柔軟性を伸ばすことの重要性について説明します。

### 小見出し 2 の挿入

ここにコンテンツを挿入します…

小見出し 2 として、「古いやり方を捨てる」などのサブタイトルを使用してください。ここでは、提示したすべての方法が、すべての人にとってのより良い明日にどのようにつながるかを説明して締めくくります。

### 章のまとめ/重要な考慮事項

ここにコンテンツを挿入します…

この章のキー ポイントを短い段落内で読者に伝えます。または、次のように行頭文字の書式設定を使用します。

* 今後、急速に変化する環境に適応する能力によって生き残れるかどうかが決まります。
* 自分のテキストのポイント 2…
* 自分のテキストのポイント 3…
* など

# エピローグ/結論

ここにコンテンツを挿入します…

短く簡潔にします。書籍の重要なハイライトと、問題を解決するための実行手順について説明します。読者に、前述の実行手順を取ることでどのようなメリットがあるかを説明します。

# 文献目録

以下に、APA スタイルを使用した引用文献のリストの例を示します。参考文献の一覧をアルファベット順に一覧表示します。

書籍を引用する場合、次の例のように、文献目録のスタイルを書式に適用します。

著者の姓, 名のイニシャル (イニシャルは複数の場合もあり)。(出版日)。『*<書名>*』。追加情報。出版物の都市、州名:出版社。

King, S. 著。(2000 年)。『*On writing:A memoir of the craft*』 (書くことについて) New York, NY:文庫本。

オンライン リソースを引用する場合は、次の例に示すような書式を使用します。

インターネット ドキュメントの場合

著者の姓, 名のイニシャル (イニシャルは複数の場合もあり)。(出版日)。記事のタイトル。『*<作品のタイトル>*』。完全な URL から取得

Amir, N. 著。(2018 年 10 月 17 日)。「4 tips for staying on track with your writing」 (上手なライティングのための 4 つのヒント)。*「Write Nonfiction now!」 (ノンフィクションを書こう!)* http://writenonfictionnow.com/tips-staying-track-writing/ から取得

オンライン定期刊行物の場合

著者の姓, 名のイニシャル (イニシャルは複数の場合もあり)。(出版日)。記事のタイトル。*<定期刊行物のタイトル>*、ボリュームおよびページ番号。完全な URL から取得

Brewer, R. L. 著。(2018 年 10 月 4 日)。「How to write better titles:7 effective title tips for books, articles, and conference sessions」 (効果的なタイトルを書く方法:書籍、記事、および会議セッションの効果的なタイトルのヒント)。*<著者の簡単な説明>。*http://www.writersdigest.com/whats-new/how-to-write-better-titles から取得

オンライン雑誌を引用する場合は、次の例に示すような書式を使用します。

雑誌と定期刊行物の場合

著者の姓, 名のイニシャル (イニシャルは複数の場合もあり)。(出版日)。記事のタイトル。*定期刊行物のタイトル*、*<ボリューム番号> (使用可能な場合は、発行番号*)、ページ数。

McPhee, J. 著。(2013 年 4 月 29 日)。Draft No. 4.『*The New Yorker*』*、Vol. 89、pp.* 20-25。

詳細とガイドラインについては、APA 論文作成マニュアルを参照してください。

# 謝辞

ここにコンテンツを挿入します…

あなたがインスピレーションを受けた人物と、あなたが作品を書いて出版するプロセス全体にわたって支えとなった主な人物に謝辞を述べます。これは献辞のページに似ていますが、ここではそれより多くの人物を含め、詳細に説明することができます。

# 著者について

ここにコンテンツを挿入します…

このページでは、三人称で書きます。(たとえば、“著者” または自分の名前を使用し、"私" は使用しない、など)。このマニュアル内の情報は、読者との信頼関係を確立します。冗長にならないようにします。信用を築くようなその他の情報と同様に、自分の書籍のトピックについての自分のバックグラウンドと専門知識を記載します。例:

* 今回のトピックに関連する個人的/専門家としての業績
* その他の出版物の一覧および自分の Web サイトへのリンク
* 学歴
* 一緒に仕事をしたことがある、該当分野の著名な他の専門家について説明します
* 居住地、家族、趣味など